

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
肝細胞癌 アテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法		21日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
day 1	① 生理食塩水 50mL(プライミング用) ② 生理食塩水 250mL+アテゾリズマブ 1200mg 問題無ければ2回目以降は30分に短縮可 0.2または0.22 μ mのインラインフィルター使用 ③ 生理食塩水 50mL(フラッシュ用) ④ 生理食塩水 100mL+ベバシズマブ 15mg/kg 初回90分、2回目以降は問題なければ60分、さらに問題なければ 30分に短縮可 ⑤ 生理食塩水 50mL(フラッシュ用)		
コメント			

プロトコールに関する解説
<p>切除不能の肝細胞癌において、1次治療で治療効果の示されている方法です。世界規模で行われた臨床試験により、本治療法はソラフェニブ単剤よりも優れた治療成績が示されました。この治療法は、3週間に1回点滴で薬を投与することになります。効果が認められ長期にわたる場合は、CVポートなどの特別な処置を行うことがあります。高血圧や注入に伴う反応など副作用もありますので、初回は入院で行います。副作用が強い場合は、単剤投与や休薬期間延長などによる調整が必要になることがあります。</p>